

頑張れ店長

宣伝は気を遣って

2020年の東京オリンピックは国をあげての一大イベント。東京都の試算では3兆円の経済効果があるとか。ホールも少しはあやかりたいと思うのは人情ですが、過激な宣伝、イベントが規制されて以降、ホールの現場は、どうなっているのか。各地の店長さんに聞きました。

「五輪」は使えません

「新聞の折り込みチラシの原稿に『祝・東京五輪決定。スタッフが真心のおもてなしで迎えます』と書いたら、印刷屋さんから『この言葉はJOC（日本オリンピック委員会）からクレームを受ける恐れがあります』と言われました。JOCと契約したスポンサー企業しか『五輪』とか『オリンピック』という言葉を使えないそうです。この一大イベントも扱いがいろいろ難しいですね」（関東・A店長）

スポンサー企業以外は、「がんばれ！ニッポン」や「TOKEYO 2020」といった文言も使えないそうです。

やはり「新装開店」効果

「イベント規制で、『甘デジ』『赤字覚悟の熱血週間』『7の日は混雑予想日』といった言葉は使えないので、チラシには『快適空間』、新台を入れたときは『新装開店』といった文言を使っています。この『新装開店』が集客には一番効果的なので、数台ずつでも頻繁に入れ替えをするようになりました」（中部・B店長）

ホールのイベント規制が始まったのは一昨年の秋から。特定の日や期間を限定したイベント、特定の機種に対するイベントなど、射幸心をそそる恐れのある宣伝広告が禁止されました。多くのホールはイベント主体で集客していたので、厳しいといえれば厳しい状況です。

やる気を盛り上げて

「特定の日や期間限定のイベントなどはNGなので、表現には細心の注意を払っています。『人気機種を多数揃えて待っています』といった言い回しで、お客様のやる気を盛り上げています」（中部・C店長）

パチスロの6段階の設定以外、遊技機に手を触れることはできません。そのパチスロについても、高設定の「6大量投入」といった宣伝はNG。

「7の日」でお叱りを

「以前の話ですが、メール会員向けに『7の日はお得イベント』と書いたら、県遊協から射幸心を煽る宣伝広告の疑いが強いと、お叱りを受けました。以来、禁止用語を確認しながら宣伝文をつくっています。無難なのが『新装開店』ですから、新台を導入したときは目一杯宣伝しています」（関東・D店長）

証拠が残らなければいいだろうと、店のスタッフがプレー中のお客様の耳元で『〇日は全台

店長からの投稿

9月1日の

防災の日は、開店前にスタッフ全

員で避難訓練をしました。大地震で天井裏を

通っている玉搬送パイプが外れたら大変なので、お客

様を速やかに駐車場に避難誘導するという想定です。

店内放送でお客様に状況を説明し、直ちに遊技をやめて駐車場

に避難するようお伝えして、スタッフが総出で誘導するのですが、大

当たり中で逃げようとしないうち

は遊技機の電源を落とすことあり

ます。避難がすんだら、お客様に

は「来店証明書」をお渡しして、後日

精算する手順にしています。ホールを

避難所代わりに使ってもらおうと考

えて、倉庫には100人分の毛布、そ

れに100人が3日過ごせる保存食と水、それに簡易トイレや発電機などを用意し

ています。皆さんの店では、どんな備えをしていますか？（関東・店長）

防災の訓練実施 遊技中止 駐車場へ 毛布や保存食用意

開放」と言って回るホールが近所にあるとD店長が言いますが、もちろんこれもNGです。

スタッフのブログ好評

「イベントや宣伝広告の規制以来、どうしても紳士的というか、おとなしいものになってしまっています。それを補うために、店のホームページにスタッフが毎日交代でブログを書いてあく

セス数を増やしています。店の宣伝めいたことを書くとお叱りを受けそうなので、休日にハイキングに行って楽しかったこと、近所のイタリア料理店でランチをとってプチ贅沢をしたことなど身の回りのことを写真入りで掲載しています。私も書き込んでいますが、常連さんから「あのブログ読んだよ。面白かった」と声をかけられることがあります。スタッフが発信することで店のファンをつくり、集客につなげていきたいです」(中部・E店長)

スタッフ総動員で個人的な体験をブログに書くようになって、一人一人の暮らしぶりや本音がわかり、職場の会話も増えたとE店長は付け加えます。

季節に合わせムードを

「うちの店は手作り感を出したいので、店内のPOPはスタッフの手書き、景品コーナーは季節に合わせて七夕の時期なら笹飾り、夏にはビーチの小道具、秋なら紅葉狩りの雰囲気を出しています。チラシや会員メールには『景品担当の〇〇が自信を持って選んだ豪華景品多数入荷』とか、『新装開店！店長の私が入賞した新台』と担当者を前面に出して宣伝しています」(近畿・F店長)

手作りとなるとスタッフの手間は大変ですが、景品コーナーの様替えのときはスタッフ総出で、文化祭の準備のような楽しさがあるそうです。

新装開店にタレント

「新装開店の日は、景気づけで若手のお笑いタレントを呼んでイベントをやることがあります。名の知れたタレントだとギャラは高額になりますが、デビューして日が浅いタレントなら1時間で10万円ほどですみます。それでチラシや店のホームページに写真を載せて、『売り出し中のお笑いタレント〇〇が新装開店に応援来店』とやれば目を止めてくれますし、集客効果もあります」(関東・G店長)

業界誌の記者が取材で来店することを宣伝する「ライターイベント」は事実上禁止されましたが、タレントが来店して新装開店を盛り上げることまで禁じられてはいないとG店長は言います。

イベントで集客する営業から、きめ細かい接客などのサービス、店のホームページや会員メールの充実、あるいはパーソナル計数機や機種構成などの設備で集客に努める必要がある、というのが共通認識であるようです。